

令和3年度社会教育施設評価書（目標設定・実施結果）

施設名 生命の星・地球博物館

評価基準 (達成度)	達成 (目標値 \geq 100%)	○
	ほぼ達成 (目標値 \geq 80%)	△
	未達 (目標値 $<$ 80%)	×

○全館共通項目

		取組の内容		自己点検		第三者評価	
		1年間の目標値	実現方策	達成値	達成度	課題・対応の方向	評価のコメント及び今後の方向性等の提言
利用状況	満利用者	86 %	来館者のニーズを把握し、魅力ある施設づくりに務める。	96.8%	○	来館者のニーズを把握し、引き続き魅力ある施設づくりに務める。空調等改修工事の期間中、利用者の博物館離れを食い止めるよう、オンラインを活用した利用者サービスを検討していく。	
	入館者	88,279 人	より効果的な広報を実施し、さらなる利用促進をはかる。	107,247 人	○	感染症拡大防止に配慮しながら利用促進をはかる。空調等改修工事の期間中、利用者の博物館離れを食い止めるよう、オンラインを活用した利用者サービスを検討していく。	
	教育への参加者	230 人	魅力ある行事づくりをさらに進める。	1,219 人	○	オンライン講演会や出前講座などさまざまななかたちでの学習支援活動を検討していく。感染症拡大防止に配慮しながら対面での学習支援活動も再開させていく。	
	トイアンクセス	448,202 件	利用者視点に立った情報や記事を増やし、サイトの魅力をさらに増す。	552,399 件	○	利用者視点に立った情報の提供、オリジナルで時流に沿った記事をさらに増やすことによって、サイトの魅力を向上させ、アクセス数の増加を促す。	
資料・収蔵品	活用	館外貸出 (研究) 20,065 (以外) 1,461 点	外部研究者との連携をさらに密にする。同時に、資料の蓄積を進め、利用をさらに活性化させる。	(研究) 15,773 (以外) 60,010 点	○	外部研究者との連携をさらに深めると同時に、資料のさらなる蓄積、信頼のにおける資料収集と資料に関連する情報の発信につとめ、資料利用をさらに活性化させる。	
	維持管理	棄損無し	IPMの考えに基づき、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。	棄損無し	○	IPMの考えに基づき、館内の温湿度モニタリングを実施し、虫害等による資料の破損や劣化を防ぐ。	

調査研究	研究成果の公開 (発表・印刷物等)	学術著作 92 普及著作 75 件	外部研究者と の連携をさら に密にし、研 究の進展をは かる。外部資 金のさらさら に積極的に取 組み、調査研 究の充実をは かる。	学術著作 83 普及著作 70 件	△	引き続き外部研究者との連携を進め、研究の進展をはかる。外部資金の獲得にさら積極的に取り組み、調査研究の充実をはかる。	
情報発信	事業情報の 発信	557 件	利用者視点に 立った情報、 記事をとさら に増やすこと で更新につ める。	1,011 件	○	利用者視点に立った情報の提供、オリジナルで時流に沿った記事をさらに増やすことによって、サイトの魅力を向上させ、アクセス数の増加を促す。	
施設運営等	観覧料及び 事業収入	観覧料 29,074 事業収入 1,338 千円	魅力あるテー マによる特別 展・企画展の 開催など、来 館者増に繋が る各種の取組 みを積極的に 実施する。	観覧料 30,181 事業収入 1,818 千円	○	魅力ある特別展、企画展の開催や、幅広い内容の講座や講演会など、来館者増に繋がる各種の取り組みを実施する。	
	施設点検	点検を 実施する	防火・防災に ついて、来館 者視点での点 検を引き続 き実施する。	点検を 実施した		引き続き、来館者視点での点検を実施し、安全、安心を確保する。	
	自己研鑽 及び 他館の研究						

注) 各論は各館独自の取組みを中心に評価項目や指標を設定する。